

ムラタの環境保全活動の年表

1989年		オゾン層破壊物質(特定フロン、1,1,1-トリクロロエタン)の自主全廃方針の制定
		オゾン層破壊物質対策プロジェクトの設置
1991年		土壌・地下水汚染調査の開始
1993年		オゾン層破壊物質(特定フロン、1,1,1-トリクロロエタン)全廃の達成
		塩素系有機溶剤(トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン)自主全廃方針の制定
1994年		環境委員会の設置
1995年		ムラタ環境憲章を制定(第1次環境行動計画)
		本社に環境管理部を設置
		LF(Lead Free)はんだプロジェクトを設置
		塩素系有機溶剤(ジクロロメタン、テトラクロロエチレン)、代替フロン(HCFC)全廃の達成
1996年		製品に含まれる環境負荷化学物質の自主規制表を制定
1997年		台湾村田股份有限公司(台湾)でムラタグループ初のISO14001認証を取得
		生産工程で排出される環境負荷化学物質の自主規制表を制定
		内部環境監査員養成の社内講座の開始
1998年		塩素系有機溶剤(トリクロロエチレン)の使用全廃、1993年自主全廃方針の達成
		国内における廃棄物焼却炉の全廃(古紙の全面リサイクル化)
		社内報における環境月間特集の開始
1999年		ライフサイクルアセスメント(LCA)ガイドラインの発行
		野洲事業所にコージェネレーションシステムを導入
		土壌汚染防止基準を定め、既存設備の改修を開始
		化学物質審査登録制度の運用開始
2000年		国内外生産拠点でのISO14001認証取得の完了
2001年		国内の厨房付き従業員食堂への生ゴミコンポスト化設備の導入完了
		ムラタ環境憲章を改定(第2次環境行動計画)
		グリーン調達の実運用開始、グリーン調達ガイドを発行
2002年		土壌汚染防止基準に基づき、国内既存設備の改修を完了
		環境報告書の初回発行
2003年	4月	環境配慮型オフィスビルをコンセプトにした新本社建設に着工。この新築工事においては建設廃棄物のゼロエミッションにも取り組む。2004年9月竣工予定。
	7月	製品アセスメント制度の運用開始
	10月	環境コストマネジメント(環境会計)制度の運用開始
2004年	3月	国内における廃棄物ゼロエミッションを達成
	4月	ムラタ環境憲章を改定(第3次環境行動計画)